

# 《会報ふくしま》 電子版第60号

## 目次

- 1 会長あいさつ
- 2 日調連総会からの報告
- 3 東北ブロック協議会報告
- 4 東日本大震災による避難等の状況報告
- 5 会員異動
- 6 編集後記



### 1) 会長あいさつ

会長 五十嵐 鈎哉

福島県土地家屋調査士会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。8月の酷暑のなか、東日本大震災発生から5ヶ月が経とうとしております。調査士会の会務も震災の影響で例年通りとはまいりませんが、やっと各部会が開催され各部事業が始動いたしました。広報部では予算が少ないなか、費用をかけずに会員へ情報発信したいということで会報ふくしま電子版を発刊いたしました。

早く震災前の状態に戻りたいという思いであります。まだまだ復旧・復興には程遠い福島県です。それでも、時の経過とともに私達の周囲も多少穏やかになり、脅威を感じる状況からは脱却しているように思われます。日調連総会の時に購入してきました放射線線量計を各支部に配付(会津支部には配付しま

せんでした、ご容赦ください。)しましたが、会員皆様方のお役に立っているでしょうか。

県内外へ避難している会員も、避難地を移動しているようです。いろいろとお忙しいでしょうが、ぜひ近況を連絡していただき、何かお手伝いできることがあれば遠慮なく言っていただきたいと思います。震災発生直後から安否確認、支援への対応とバタバタしておりましたが、これからは現状における福島県の調査士というものを見つめ直し、どのように業務をしていくか、どのような社会貢献をしていくかを、調査士会として検討し会員皆様に提示したいと考えております。

震災後5ヶ月という状況の中で、わたしたち調査士の業務も、調査士会の事業も、国民または地域の人々に活力を与えるものであります。3月11日の地震の、津波の、原発の被災に対する調査士としての支援は、職権滅失や境界復元への支援もあるでしょうが、3条業務以外の支援も考えていのではないでしょうか。この様な未曾有の災害を体験したこと、社会が調査士に望むものを肌で感じ取り、新たな業務を開拓する契機となることを願っております。また、会員皆様が電子版を活用され、より早く、より多くの情報が提供されることを願い、ご挨拶といたします。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

### 2) 日調連総会からの報告

副会長 橋本 豊彦

日本土地家屋連合会

平成23年度第68回定時総会

開催日 平成23年6月21日(火)、22日(水)

会場 東京都文京区

「東京ドームホテル地下1階 天空」

定時総会は冒頭、東日本大震災の犠牲者及び没故者への黙祷、土地家屋調査士倫理綱領の唱和、調査士の歌を歌唱して始まった。

開会の辞を大星副会長、松岡会長の会長挨拶に引き続き、江田五月法務大臣から法務大臣表彰状の授与、松岡会長から連合会表彰状授与、感謝状贈呈が行われた。

今年度は福島会関係者の受賞者はいなかつた。

議事の審議に入る前に、東日本大震災で被災した三県に対し日調連、単会、全国の土地家屋調査士から頂いた、励ましのことば、支援物資、義捐金等に対し、東北ブロック協議会柴山会長、宮城会長代理、五十嵐福島会長、岩手会長からそれぞれ御礼の挨拶をした。



議長に富田会長(埼玉会)、富山会長(岡会)を選任し、議事録署名人に宮下会長(長野会)、阿部会長(新潟会)を指名し会議を始めた。

## 会務報告

総括を松岡会長、各部を担当副会長・部長より報告があり、事前質問事項について答弁され、数名が答弁に対する再質問をした。その後、議長が会場に承認を求めたところ挙手多数により承認された。

## 第1号議案

- (イ) 平成22年度一般会計収入支出決算報告承認の件
- (ロ) 平成22年度特別会計収入支出決算報告承認の件

財務部長から新公益法人会計による決算報告、監事より監査報告の後、事前質問事項

について答弁があり、その後、議長が会場に承認を求めたところ挙手多数により承認された。



## 第2号議案

議長は役員選任規則により、選舉管理委員会に選舉事務を執り行わせる旨を宣言し、委員長が注意事項を述べた後、各候補者が届出順、会長候補 濑口潤二(山口会)、竹内八十二(東京会)、副会長候補 岡田潤一郎(愛媛会)、林 千年(岐阜会)、関根一三(埼玉会)、小林昭雄(青森会)、中村邦夫(福岡会)、志野忠司(奈良会)が所信を表明した。

選舉管理委員長より会場閉鎖後の有効投票総数は184票との発表があった。投票後、選舉管理委員長から明日に開票する旨の説明があり、議長は本議案を中断し、明日の第5号議案の後再開するとして、本日は散会した。

## 22日議事再開

議長から第3号議案から第5号議案は関連があるため一括上程を議場に諮り、異議なく了承された。

## 第3号議案

「土地家屋調査士の日」制定審議の件

## 第4号議案

平成23年度事業計画(案)審議の件

## 第5号議案

- (イ) 平成23年度一般会計収入支出予算(案)審議の件

(口) 平成 23 年度特別会計収入支出予算(案)審議の件

事業方針大綱、事業の大要を松岡会長、各部を担当副会長・部長より説明があり、事前質問事項について答弁し、数名が答弁に対する再質問をした。その後、議長は採決を議場に諮り挙手多数により承認された。

議長は第2号議案の再会を宣し、選挙管理委員長に選挙結果を求めた。選挙管理委員長から議長に次の開票結果報告がなされた。

選挙結果	投票総数	182票
	有効投票	182票
会長	瀬口潤二(山口会)	77票
	竹内八十二(東京会)	105票

選挙結果	投票総数	182票
	有効投票	181票
副会長	岡田潤一郎(愛媛会)	121票
	林 千年(岐阜会)	127票
	関根一三(埼玉会)	91票
	小林昭雄(青森会)	68票
	中村邦夫(福岡会)	37票
	志野忠司(奈良会)	99票

議長から会長に竹内八十二(東京会)、副会長に 岡田潤一郎(愛媛会)、林 千年(岐阜会)、関根一三(埼玉会)、志野忠司(奈良会)と決した旨議場に報告された。

続いて、理事・監事・予備監事について  
は候補者名簿が議場に配られ、議長が各候  
補の承認を議場に諮りいずれも挙手多数に  
より承認された。

## 柴山武前会長の理事職就任決定

また、議長は会長指名理事2名の名簿提出を新会長に求めたところ小林昭雄(青森会)、竹谷喜文(法務省出身)の2名が選任さ

れた。

新会長は議長に名誉会長に松岡前会長を推戴したい旨発言し、議長は議場に諮り拍手にて承認された。

議長はこれで全ての議案が終了した旨を宣言し降壇し、総会は無事終了した。



「土地家屋調査士の日」

は7月31日に決定

(平成 23 年度 日調連定時総会承認)  
【趣旨】

我々土地家屋調査士は、昭和25年7月31日の土地家屋調査士法の施行以来、60年にわたり、その業務を通じて土地家屋調査士法第1条に掲げられている目的「不動産に係る国民の権利の明確化」に 寄与してきたが、その知名度は、年々上昇しているものの、他資格業に比べまだまだ不十分と思われる。

そこで、土地家屋調査士制度が誕生した  
土地家屋調査土法制定の日を記念日として  
制定することにより、土地家屋調査士会員の  
一人ひとりがその社会的使命を再認識する  
機会とするだけでなく、市民の方々に対し、  
土地家屋調査士制度をPRする機会とする為、

土地家屋調査土法が施行された7月31日を  
「土地家屋調査士の日」として制定する。

.. ~ .. ~ .. ~ .. ~ .. ~ .. ~ .. ~ .. ~ ..

## 3) 東北ブロック協議会報告

副会長 永山和之

平成23年7月5日(火)6日(水)の両日、秋田市内に於いて、日本土地家屋調査士会連合会東北ブロック協議会第56回定時総会が開催されました。

本会からの参加者

ブロック役員

柴山 武 協議会会长(前会長)

永山和之 事務局長(副会長)

福島会代議員

五十嵐欽哉 会長 橋本豊彦 副会長

橋本祐司 総務部長 鈴木敦 財務部長

平成23年度事業計画

- 震災復興支援の連絡調整
- ADR担当者会同
- 日本土地家屋調査士会連合会事業計画と連動する事業
- 新人研修会の開催

日程: 平成24年3月9日(金)

~11日(日)

開催場所: 仙台市内 (宮城会担当)

次期(平成24年度)総会開催担当会

山形県土地家屋調査士会

新役員

- |      |              |
|------|--------------|
| 会長   | 菅原唯夫(岩手会会长)  |
| 副会長  | 五十嵐欽哉(福島会会长) |
| 副会長  | 山川一則(山形会会长)  |
| 理事   | 鈴木修(宮城会会长)   |
| 理事   | 赤塚富治(秋田会会长)  |
| 理事   | 小林要蔵(青森会会长)  |
| 事務局長 | 小笠原寿男(岩手会)   |

## 講演会

### 1. 「これから日の調連の取り組み方について」

日本土地家屋調査士会連合会会長

竹内八十二様

### 2. 「東日本大震災による被災地の復旧・復興計画と法第14条地図作成作業のあり方について」

法務省民事局民事第二課

法務専門官 西田淳二様.

以上をもって総会が無事終了し、柴山前会長、永山の両名は、ブロック協議会会長、ブロック事務局長としての任を終了しました。

ここに改めて、2年間ご理解・ご協力を戴きました、会員・本会役員の皆様にお礼申し上げます。

.. ~ .. ~ .. ~ .. ~ .. ~ .. ~ .. ~ ..

## 竹内八十二 日調連新会長の記念講演

(東北ブロック協議会定時総会記録から抜粋)

### 演題

### 「これから日の調連の取り組み方について」

1. これまで会員は決して安いとは言えない日調連会費を納めている訳で、日調連経費を抑え全会員に業務上の自賠責保険を日調連経費で会員へ還元したい、それにより国民への安心感を高めると伴に土地家屋調査士への信頼性を深める。

2. ADRセンターの活用について、これまで立ち上げが目的であり、運営については行き詰った感があるが、これからは調査士国民双方にとって何が利益、最良化を考えて行きたい。

3. 認定調査士について、当初は認定調査士を取れば仕事になるのでは、との思いから多くの会員が取得をしたが、今日では受験者数も少なく、今後は認定調査士の活用を法曹界以外からも広く意見を求めて行きたい。

#### 4) 東日本大震災による避難等の状況報告（抜粋）

No.	地 区	震災・避難の状況	事務所・自宅の状況	今後について
1	相双	3/11 午後 9 時屋内退避指示。3/12 朝、○中学校体育館。夕方、△小学校体育館。 3/15 夕方、二本松市住民センター体育館。 3/18 千葉県浦安市。5/22 磐梯町のペンション（二次避難先）	放射線量が高く、立入り制限地区のため、家屋の修復は出来ない。	見通しがたたない。
2	相双	3/12 川内村の避難所。夕方、原発の水素爆発のニュースを聞き、山梨県の親族宅に避難。	10km 圏内のため修復できない。一時帰宅したが、雨漏りの為、天井が落ちそうだった。	仕事をしたい。倒壊建物の滅失調査作業に参加したい。
3	相双	3/12 夕方、原発事故のため 20km 圏内が危険との情報があり、川内村の親族宅に避難。3/15 村内全域自主避難指示により、埼玉県の親族宅に避難。3/17 千葉県船橋市の親族宅に避難。4/4 に千葉県船橋市の雇用促進住宅に移った。	事務所・自宅とも大きな被害は無かつたが、どちらも 20km 圏内のため立入りできず詳細不明。	原発から 20km 圏内のため、見通しが立たない。
4	相双	3/11 近所の広場で野宿。3/12 消防団員より川内村への避難指示があり向かったが大渋滞のため、いわき市の親族宅に向かう。その後、両親・姉と共に神奈川県大和市に移動。	20km 圏内のため修復できない。6/28 一時帰宅したが、地震当時のまま落下物が散乱している状況だった。	休業状態が続いている。原発の収束がいつになるかわからず不安。
5	相双	3/11 は電気・ガス・水道使えず食事なし。3/12 川俣町に避難、その後 3/13 北塩原村、3/19 東京、3/25 神奈川県藤沢市と移動し、4/21 東京都江東区の東雲住宅に入居。	屋根の棟瓦が落下。L P ガス管破損。立入り制限地区のため、家屋の修復は出来ない。	見通しがたたない。
6	相双	3/12 早朝、三春町に避難。3/17 神奈川県の親族宅に避難。	第一原発から 4.2km の場所なので、手をつけられない。	来年には福島に戻り、土地家屋調査士を再開したい。
7	相双	4/22 計画的避難区域の指定となった為、川俣町で避難生活をしている。	棟瓦が損壊し修繕した。	放射線量が高く、自宅に戻れない。
8	相双	3/12 いわき市に避難。3/18 栃木県の親族宅に避難。3/20 埼玉県狭山市の親族宅に避難。4/12 狹山市の被災者住宅支援によりアパートを借上げてもらい入居。	自宅の屋根瓦が破損。20km 圏内のため修理できず、雨漏りしていると思う。	第一原発が収束した後でないと生活設計が出来ない。

## 5)会員の異動

自 平成23年4月1日  
至 平成23年7月31日

支部名	年度始現在	退会者	入会者	年度末現在	法人
福島	66	阿部高進 H23.6.20 (東京会～H23.7.1)		65	
郡山	74	宗像利勝 H23.7.6	渋谷正博 H23.5.10 (東京会より)	74	ベストファーム 1事務所・社員1名
会津	37			37	
白河	38		保坂道賢 H23.6.20 (新潟会より)	39	ベストファーム 1事務所・社員1名 使用人1名
いわき	48			48	ベストファーム 1事務所・社員1名
相双	32			32	
計	295			295	1社(3事務所・社員3名使用人1名)

## 新入会員

支部名	登録番号	氏名	生年	事務所所在地	電話番号/FAX	入会年月日
郡山	1455	渋谷正博	昭和30年生	郡山市御前南一丁目60番地	024-962-7866 024-962-7868	H23.5.10
白河	1456	保坂道賢	昭和41年生	石川郡石川町大字塩沢字広畑44番地1	0247-26-7320 0247-26-7325	H23.6.20

## 6)編集後記

### 余談 1

鈴木部長は総会の席上、会員から要望があった放射能線量計を購入するため、日調連定時総会終了後、猛暑の中、秋葉原の電気店を数軒訪ね歩き、やっと販売している店を見つけました。それでも在庫は十数台しかなく、使用方法、金額等の説明を受けて会津支部を除く5支部に1台ずつ配布することとし、計5台購入することができました。

又、福島から来たというと「マスク」を大量にサービスしてくれました。



### 余談 2

通常、日調連の東北ブロック協議会理事の枠は2名ですが、今期は会長指名理事がブロックから選出されたため3名になりました。震災復興支援には心強い限りです。

東北ブロック協議会選出理事

前日調連理事 岩渕正知氏(宮城会)

前ブロック協議会会长及び福島会長

柴山 武氏(福島会)

前日調連理事 小林昭雄氏(青森会)

広報担当 副会長 橋本 豊彦

今年度は従来の印刷による広報誌から、電子メール配信による携帯に変更させていただきました。内容的にも少量となり、申し訳なく感じております。

今後は、メール配信の特性を活用し、頻繁な配信を行いながら内容を充実させていきたいと考えておりますので、お叱りの言葉でも結構ですので、ご意見・ご要望をお寄せいただきたくお願い申し上げます。

広報部長 菅井 隆邦

**奥付**\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \*

福島県土地家屋調査士会

「会報ふくしま 電子版」No.60

発行日 平成23年8月10日

発行所 福島県土地家屋調査士会

〒960-8131

福島市北五老内町4番22号

TEL 024-534-7829

E-Mail [info@fksimaty.or.jp](mailto:info@fksimaty.or.jp)

発行者 五十嵐 欽哉

\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \*

★この会報はEメールでの配信、調査士会HPでの公開も行っております。メール会員の登録がまだお済みでない方は、是非登録をお願い致します。